

災害等情報（詳報）

鉱種：石油・可燃性天然ガス	鉱山の所在地：千葉県					
災害等の種類：坑外・火災	発生日時： 平成29年10月01日（日） 7時30分頃	罹災者数	死	重	軽	計
罹災程度：－						
<p>【概要】</p> <p>ガスリフト用圧入管（最高使用圧力：1.61MPa，延長977m：うちポリエチレン被覆のSGP 40A※ 787m、亜鉛メッキのSGP（以下「SGP白」）40A190m）が埋設された道路脇で、付近の住民がドラム缶を使用して家庭ゴミを焼却していたところ、路上で着火し、小さな炎が上がったため、消火を試みたが消火できず、消防署へ通報し、駆けつけた消防隊により消火された。</p> <p>現場に鉱山係員が到着し確認したところ、消火のために散水した路面上から気泡が出ていることから、ガス漏洩の可能性が高いと判断し、当該圧入管に圧縮ガスを送ガスしている圧縮機を停止し送ガスを中止した。鉱山係員が現場に戻り確認したところ、路面の気泡が消えていたため、当該圧入管からのガス漏洩と特定した。</p> <p>※ SGP：配管用炭素鋼鋼管 40Aは呼び径を表す。</p>						
<p>【原因】</p> <p>○圧入管SGP白が経年劣化により内面から腐食し、当該腐食箇所から漏洩した天然ガスが地表まで到着し、近隣住民が家庭ゴミを焼却していた炎に引火した。</p> <p>○圧入管SGP白の腐食原因については、炭酸ガスが溶け込んだ凝縮水による内面腐食によるものと推定。（本災害発生箇所の地域から採取するガス組成は、他地域と比べて二酸化炭素比率が高い。）</p>						
<p>【対策】</p> <p>1. 本災害が発生した圧入管延長977mについては、漏洩リスクを低減するため、ポリエチレン被覆の配管用ステンレス鋼鋼管に更新した。</p> <p>2. 今後、本災害発生箇所以外のSGP白を使用している圧入管についても、ポリエチレン被覆の配管用ステンレス鋼鋼管への更新を実施していく予定。</p> <p>3. SGP白を使用している圧入管については、点検頻度を上げて管理し、更に、他の材質の圧入管についても、漏洩履歴等の実態に合わせ、点検方法や点検頻度を見直した。</p>						
<p>【参考情報等】</p> <p>○パイプライン（圧入管）については、日常の巡視のほか、定期的に点検を行いましょう。</p> <p>また、点検頻度の妥当性についても定期的に確認しましょう。</p>						

○火災を防止するため、消火栓、消火器、消火用砂その他の消火設備を、適切に設けましょう。

○鉱山保安法令における参考規定は以下のとおりです。

< 鉱山保安法令 >

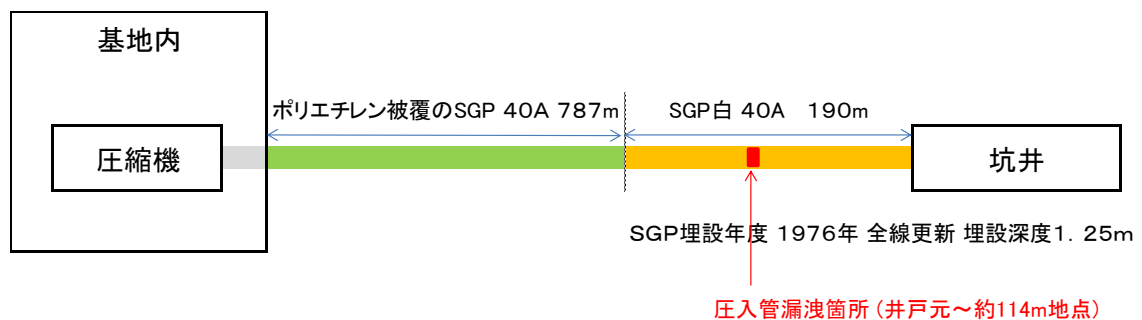
- ・ 巡視及び点検（鉱山保安法施行規則第 26 条・鉱業権者が講ずべき措置事例第 23 章）
- ・ 消火設備の設置（鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第 3 条第 1 項第 4 号）
- ・ パイプライン技術基準（鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第 2 1 条）

【お問い合わせ先】

関東東北産業保安監督部 鉱山保安課 阪西、森山、尾崎

電話番号：048-600-0438

図 1 災害発生箇所概念図



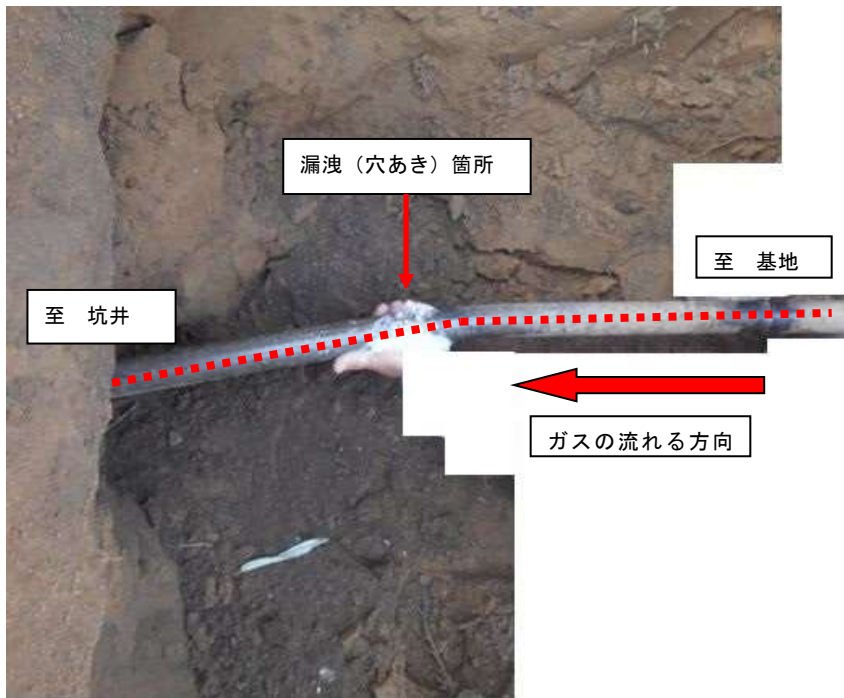


写真 1 : 圧入管の敷設状況



写真 2 : 写真 1 の圧入管を赤点線に沿って半分にカットした内面の状況



写真3：圧入管内面の穴あき状況（拡大）



写真4：圧入管の外観状況